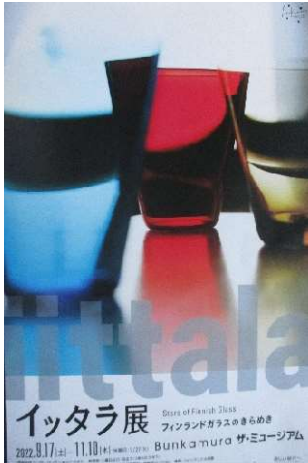


イッタラ展 フィンランド・ガラスのきらめき

Bunkamura ザ・ミュージアム 22.09.17~11.10



「イッタラ」は、フィンランドを代表するライフスタイルブランドで、1881年設立されたブランドは、「アルヴァ・アアルト」や「カイ・フランク」のフィンランドデザインの発展を牽引したデザイナーと歩んできた。

このプロダクトは、美しさと機能性を全ての人に提供するという思想のもとに生み出されたもので、今なお世界中で愛され続けている。「カイ・フランク」は、1950~60年に来日して、日本の文化に影響を受けた作品を生み出して、21世紀になると「イッセイ・ミヤケ」や「ミナペルホネン」といった日本のブランドが、「イッタラ」とコラボレーションをしている。

本展は「イッタラ創立140年」を記念し、フィンランド・デザイン・ミュージアムが2021年に開催した展覧会を再構成して、イッタラの歩みを象徴する20世紀半ばのクラシックデザインのガラスを中心に、陶器や、映像やインタレーションを交えた「約450点」を通して紹介している。その技術とデザインの美学、さらに“イッタラと日本の関わり”にも迫るもので、時代を超えて今なお多面的に輝き続けるイッタラの世界を堪能することができる内容である。

<本展の見どころ>

1. 「イッタラ」140年におよぶ軌跡を「450点」以上の作品を通して紹介。
2. 日本初の「イッタラ」の大規模展覧会。
3. デザイナーを通して見る、イッタラと日本の繋がりに注目。

